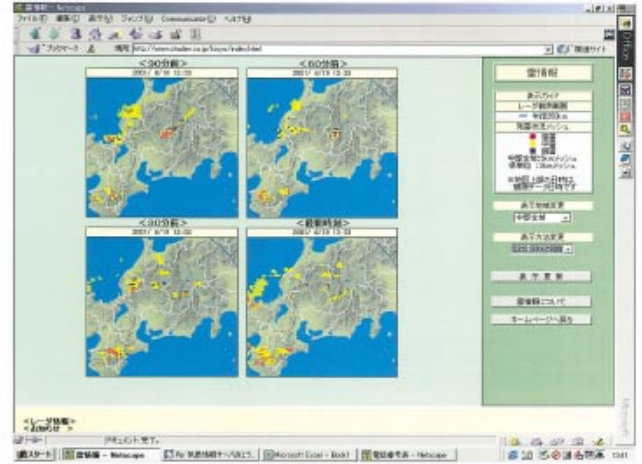


MINASANネットの給電・気象情報の内容充実

制御通信部 制御グループ

平成13年6月1日、MINASANネットのコンテンツの一つである給電・気象情報に新規画面を追加するとともに、従来からの発雷情報画面に新機能を追加しました。

給電・気象情報は、系統運用部門で使用している情報のうち一般の従業員にも役立つ情報の提供を行っており、今回のリニューアルにより内容の充実を図りました。



種別	画面名称	内容
新規	落雷(LLS)発生状況	LLS()で検出した過去1時間以内の落雷について、5kmメッシュ単位に最新のものを表示している。
新規	落雷(LLS)頻度状況	LLS()で検出した落雷を1時間単位に集計し、5kmメッシュ毎の落雷個数として表示している。
新規	地震情報	気象協会より受信している地震情報を表示している。
新規	アメダス情報	気象協会より受信しているアメダス情報を表示している。
機能アップ	発雷情報	気象レーダシステムで解析した発雷判定結果を表示している。今回、4分割画面と過去情報検索機能を追加した。

LLS(Lightning Location System) : 落雷位置標定システム

第20回 エネルギー・資源学会研究発表会

6月13日、14日の2日間、虎ノ門パストラルで第20回エネルギー・資源学会研究発表会が開催された。

エネルギー・資源学会は昭和55年に「エネルギー・資源研究会」として設立され、平成2年に現在の「エネルギー・資源学会」に移行した団体で当社は57年から加入している。学会は、エネルギー・資源に関する諸問題を総合的に取扱い、産・学・官の緊密な協力関係を育成強化するとともに科学技術の振興に寄与することを目的としており、2000名余の会員を有する。

研究発表会は例年6月に開催され、エネルギーや経済、環境について幅広い研究成果の発表や意見交換が行われる。今回は、2つの特別講演を始め、18セッション、86件の発表があった。このうち、セッション12の民生用エネルギー(2)では、研究企画部研究推進グループの傳田課長が座長を務め、冷暖房負荷解析結果や環境影響評価手法などについて活発な討論が行われた。当社からは、セッション13で電力技術研究所の岩田研究副主査が「低水深・多層・高効率温度成層型蓄熱システムの研究開発」について発表し、一般事務所ビルの地下スペースに設置できる本蓄熱層システムの高い性能を明らかにした。



研究発表会の様子